

# まほろば健康パーク基本計画(案)

令和6年12月

奈良県

## 目次

1	はじめに.....	3
1.1	計画の位置づけ.....	3
1.2	これまでの経緯.....	3
2	本公園の現状と課題.....	6
2.1	まほろば健康パークの現状.....	6
2.2	インクルーシブ公園整備に向けた課題.....	19
3	基本方針.....	21
3.1	基本コンセプト.....	21
3.2	ゾーン配置等の考え方.....	21
3.3	動線計画.....	22
4	公園整備方針.....	24
4.1	施設整備の考え方.....	24
4.2	施設配置イメージ.....	24
4.3	各エリアの施設整備等の詳細.....	25
5	管理運営方針.....	27
5.1	維持管理の考え方.....	27
5.2	運営の考え方.....	27
6	事業推進の考え方.....	28
6.1	費用負担の考え方.....	28
6.2	想定される事業手法(案).....	29
7	まとめ.....	32
7.1	基本計画図.....	32
7.2	イメージパース.....	33
7.3	事業スケジュール(想定).....	34

# 1 はじめに

## 1.1 計画の位置づけ

本計画は、「奈良県子ども・子育て推進本部会議(令和5年7月)」での「障害の有無にかかわらず楽しく安全に遊べる場所(公園)が少ない」という意見を踏まえて、令和5年12月に「まほろば健康パークにおけるインクルーシブ機能検討委員会」を設置して、令和6年2月から同年11月まで合計5回開催された内容に基づき、整備方針及び維持管理・運営に係る基本的な考え方をとりまとめたものである。

## 1.2 これまでの経緯

まほろば健康パークの成り立ちから基本計画の策定、公園予定区域の議決に至る経緯について、時系列で示すと以下のとおりである。

昭和 59(1984)年:大和川・佐保川の合流点に位置する浄化センターの周辺環境向上と県民の生涯スポーツの拠点として、テニスコートやファミリープールをもつ運動公園としてオープン

平成 26(2014)年:奈良市内の県営プールの老朽化に伴う、新たな水泳拠点の整備のため、県内初の PFI 方式を導入した、「新県営プール施設等整備運営事業」として、移築・再整備

平成 30(2018)年:隣接する浄化センターの拡張予定であった土地を活用し、公園の機能強化を行う基本構想を策定

令和 4 年(2022)年 2 月:拡張する区域について、都市公園法第 33 条の規定により、公園予定区域として議会で議決し公告

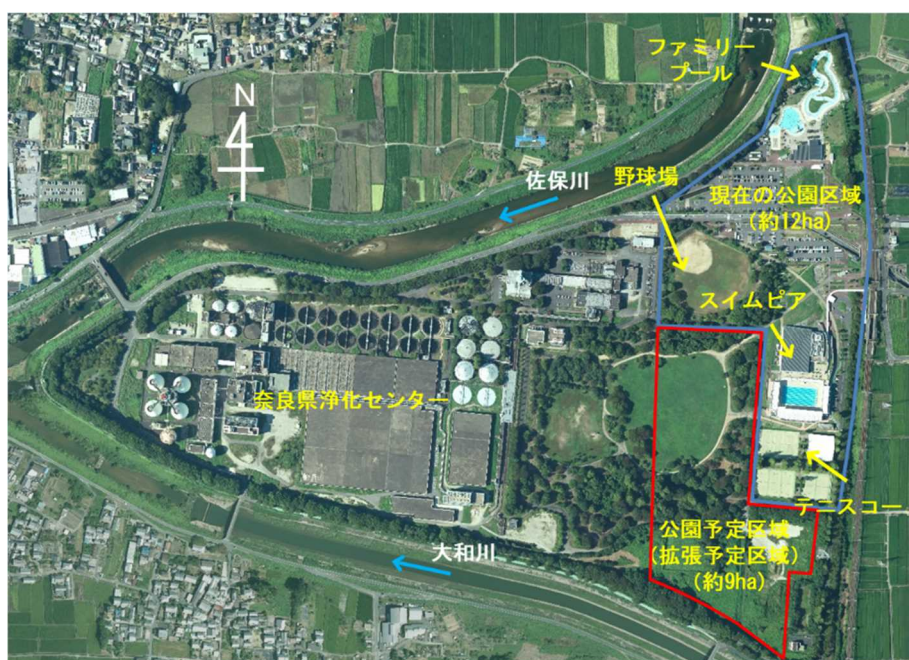


写真1.1 まほろば健康パークの現況

令和4(2022)年3月:まほろば健康パーク機能強化基本計画を策定



図1.1 まほろば健康パーク機能強化基本計画における基本計画図(令和4年度)

令和5(2023)年6月:知事による予算執行査定により、令和4年策定の「まほろば健康パーク機能強化基本計画」を再検討することを発表。

(予算執行査定内容)

「新たな施設の整備については、ニーズの把握や他の既存施設とは異なる付加価値の提供等が重要。県内の同種の施設との重複も含め、整備が必要な施設を再検討することとする。」



令和5(2023)年7月:第1回「奈良県子ども・子育て推進本部会議(令和5年7月)」の開催  
 (公園に関する意見)  
 「障害の有無にかかわらず楽しく安全に遊べる場所(公園)が少ない。」

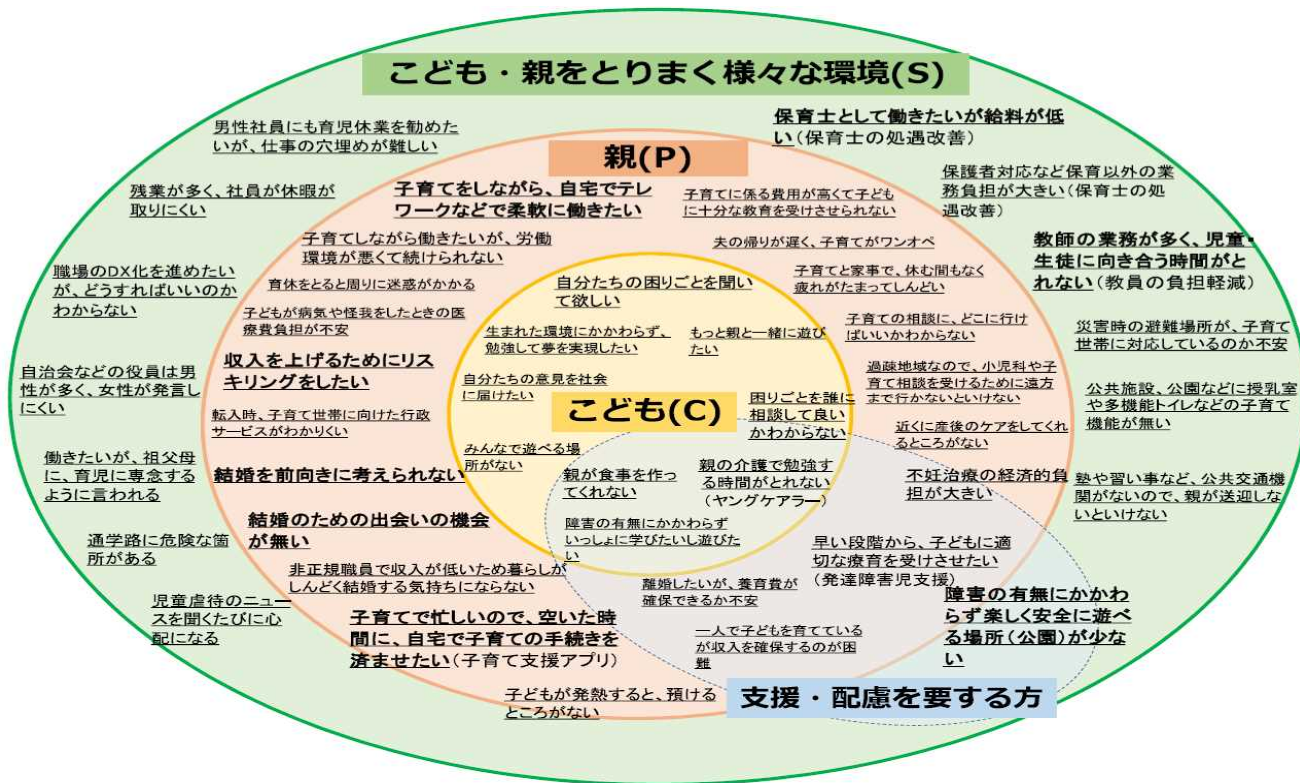


図1.2 第1回「奈良県子ども・子育て推進本部会議(令和5年7月)」資料

令和6(2024)年10月:「奈良県子どもまんなか未来戦略」を策定し、同計画の中で「子ども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり」を掲げて、まほろば健康パークのインクルーシブ公園の整備が位置づけられる。

## 2 本公園の現状と課題

### 2.1 まほろば健康パークの現状

#### (1) 敷地・施設の現況

本公園は、下水処理施設の周辺環境対策施設として昭和 49 年 2 月に都市計画決定を受け、県民にスポーツと憩いの場を提供することを主たる目的とした運動公園として設置された。設置目的を踏まえつつ、平成 26 年にはスイムピア奈良などの新たなスポーツ施設を導入したりリニューアルを実施し、県民の健康やスポーツ・運動を支える県営公園のひとつとして機能を発揮しているところである。

表 2.1 本公園の概要

施設名	まほろば健康パーク
位置づけ	都市公園(運動公園)
施設位置	奈良県大和郡山市宮堂町、川西町大字下永
設置目的	県民にスポーツと憩いの広場を提供すること
設置年	昭和 49 年 2 月(リニューアル後の直近開園日は平成 27 年 7 月)
施設規模	11.8ha(計画面積:12.8ha)
施設 コンセプト	<p>■健康増進リハビリの中核施設 子どもから高齢者まで、あらゆる年齢の誰もがいつでも気軽に利用できる健康増進・リハビリテーションの中核施設</p> <p>■人にやさしい施設 バリアフリー等ユニバーサルデザインに配慮した、全ての人にやさしい福祉型スポーツ施設</p> <p>■県内の水泳競技の拠点施設 全国規模の競技大会が開催できる競技場として、また、選手・指導者の育成が行える県内水泳競技振興の拠点としての施設</p>
現在の 管理運営方式	<p>PFI-BTO 方式(指定管理者制度を併用)</p> <p>※事業期間:平成 23 年 9 月~令和 11 年 3 月(17 年 6 か月)</p>

現在の公園区域(以下、「既存公園」という)は、本公園東側の近鉄橿原線に沿って南北に帯状に伸び、県道 109 号天理斑鳩線をはさんで、南北に公園敷地が整備されている。

公園内には、県道北側にファミリープール、ファミリー鉄道、南側に野球場、子ども広場、プール、テニスコート等が配置されている。駐車場は県道両側に整備されており、そこから各施設にアクセスする形態となっている。また、最寄り駅である「近鉄ファミリー公園前駅」が公園の東端中央部に位置しており、各施設へアクセスしやすい。

来園者の自家用車利用率は 78.7%、駐車可能台数は 550 台あるが、ファミリープール開園時期は駐車場が不足している。駐車料金は無料である。

自動車は、敷地北側の県道 109 号天理斑鳩線から既存駐車場へアクセスしやすいが、公園南側からのアクセスはしにくい。歩行者は、周辺又は近鉄ファミリー公園前から、自転車はサイクリングルート(ならクル)からのアクセスとなる。

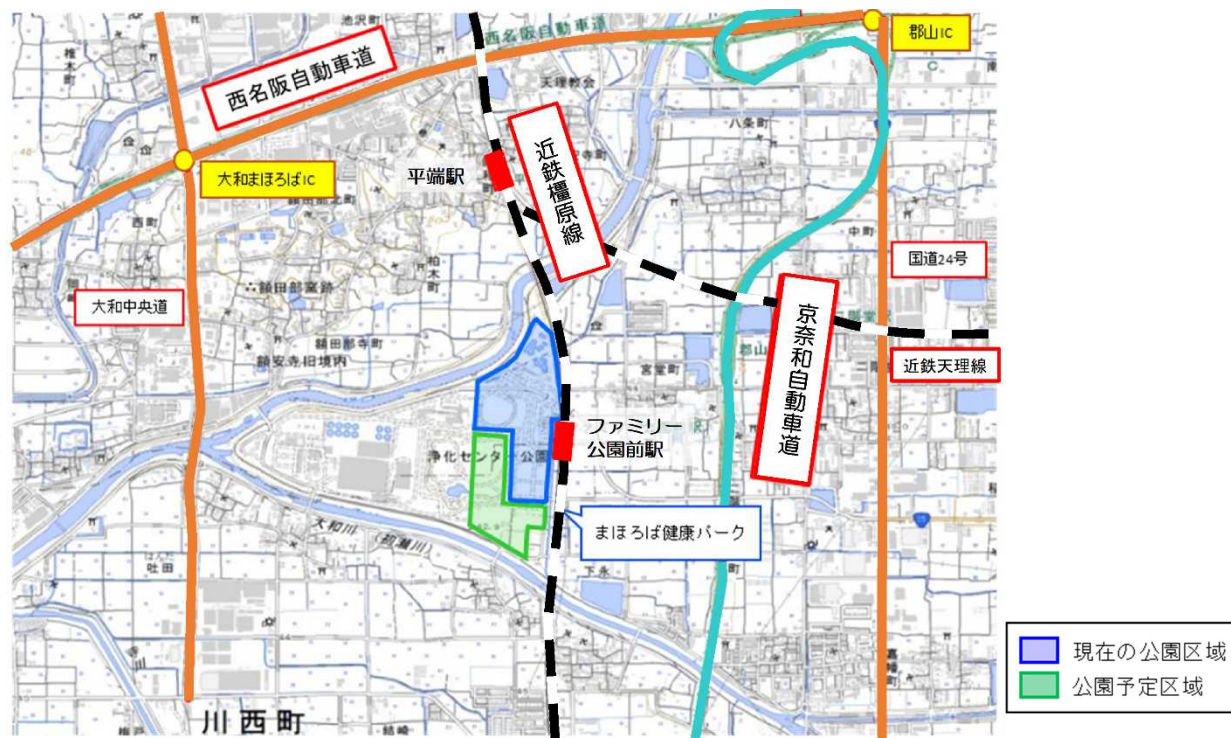


図2.1 本公園の位置図



図2.2 本公園へのアクセス状況



本公園施設の運用状況を見ると、スイムピア奈良やテニスコート、軟式野球場などのスポーツ施設は年間を通して営業している。ファミリープールは7月から8月までの夏場のみの営業であり、ファミリー鉄道は4月から11月までの土日祝日を中心として営業し、年間を通して利用できる子ども向けの施設は、無料施設である子ども広場のみである。

表 2.2 公園施設の概要

## ■有料施設

施設名	スイムピア奈良	テニスコート	軟式野球場	ファミリープール	ファミリー鉄道
イメージ					
規模等	・延床面積:7,996㎡ ・RC造一部S造 ・地上2階、地下1階、 塔屋1階	・約13,275㎡	・約11,180㎡	・約13,222㎡	・一周約350m
施設内容	・25m屋内競泳プール ・50m屋外競泳プール ・25m健康増進プール ・ジャグジープール ・採暖室 ・フィットネススタジオ ・トレーニングジム ・サイクリングステーション	・人工芝コート:10面 (うち屋根付き2面)	1面 (両翼90m センター110m)	■プールゾーン ・流れるプール ・流水スライダー ・幼児用プール ・バケツプール ・噴水 ■軽食コーナー ・軽食類販売	・ミニ鉄道の乗車体験
利用料金	1日利用(時間割あり) [一般]1,320円 [高大学生]910円 [65歳以上]830円 [障害者]無料	[コート] (1面1時間)560円 [照明] (1時間)500円	[午前利用]2,440円 [午後利用]4,370円 [全日利用]5,800円 ※午前利用9時~12時 ※午後利用13時~17時 ※全日利用9時~17時	[個人利用] ・子ども420円 ・大人860円 団体利用 ・子ども370円 ・大人770円	1回300円 2回500円
利用者数 年間	208,699人/年 (令和5年度実績)	26,309人/年 (令和5年度実績)	3,503人/年 (令和5年度実績)	82,889人/年 (令和5年度実績)	23,091人/年 (令和5年度実績)

## ■無料施設

施設名	こども広場	駐車場
イメージ		
規模等	・約6,000㎡	・約550台 (うちバス専用6台)



1) 拡張予定範囲の現状

拡張予定区域には、現在、浄化センターが管理する自由広場がある。  
 自由広場内には、芝生広場、遊歩道、樹木、池がある。  
 自由広場は雨水調整池としての機能も有している。

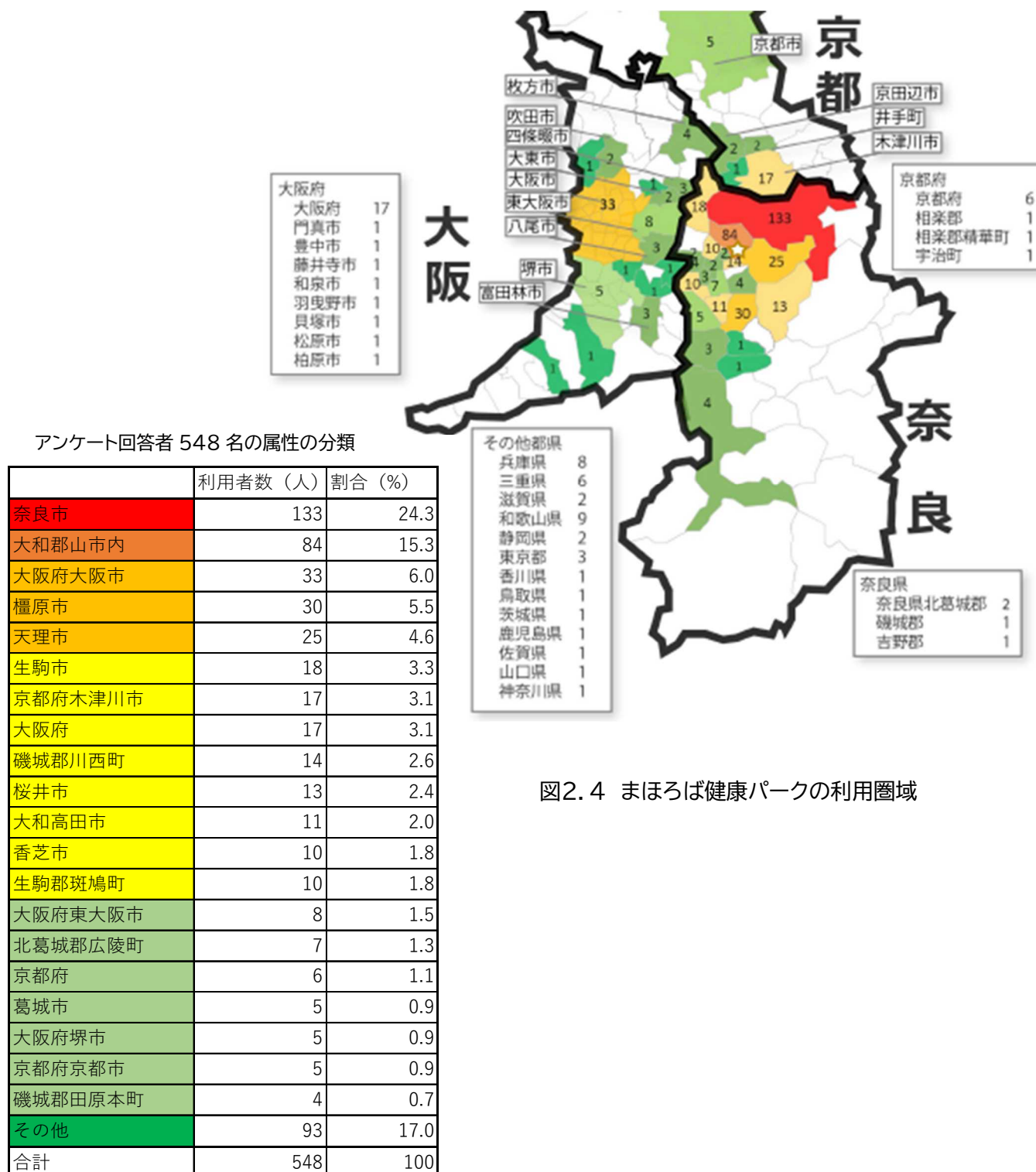


図2.3 本公園の現況

## (2) 現在の利用状況

## 1) 既存区域における利用状況

まほろば健康パークのファミリープール利用者は、奈良市、大和郡山市をはじめ、橿原市、天理市などの県内、大阪市、木津川市など他府県からも来園している。





## 2) まほろば健康パーク利用圏域内の類似施設

まほろば健康パークにおける利用圏域内には、10ha 以上の面積を有する国営・県営公園の類似施設として、大淵池公園や橿原公苑などが点在しているが、子どもの遊び場を主テーマとした公園はない。

公園名	所在地	供用面積 (ha)	主なテーマ
奈良公園	奈良市	511.3	歴史・自然環境
県営平城宮跡歴史公園	奈良市	8.1	歴史・自然環境
大淵池公園	奈良市	23.5	自然環境・スポーツ
大和民俗公園	大和郡山市	22.6	歴史・自然環境
まほろば健康パーク	大和郡山市・川西町	11.8	スポーツ・環境保全
橿原公苑	橿原市	10.2	スポーツ
馬見丘陵公園	広陵町・河合町	56.2	花・自然環境
竜田公園	斑鳩町	14.0	景観保全
県営うだ・アニマルパーク	宇陀市	8.2	動物保護
国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域	奈良市	31.8	歴史・自然環境
同 飛鳥区域	明日香村	59.9	歴史・自然環境



図2.5 まほろば健康パークの類似施設分布

一方で、市・町や民間事業者が整備している各種遊び場を有する施設は一定数確保されている。

### 類似施設(各種遊び場を有する施設)の分布状況

施設名	所在地	施設概要
ゆめのくに新大宮	奈良市	室内遊び場
にんじゃパーク奈良店(ミ・ナアラ)	奈良市	室内遊び場
ラウンドワンスタジアム 奈良ミ・ナアラ店	奈良市	室内遊び場
柏木公園	奈良市	公園
竹取公園	広陵町	公園
奈良わんぱくランド はしゃきっず	天理市	室内遊び場
天理駅前広場コフファン	天理市	駅前広場
キッズランドUS 奈良香芝店	香芝市	室内遊び場
ひみっこぱーく	桜井市	室内遊び場
モーリーファンタジー 桜井店	桜井市	室内遊び場
二上山ふるさと公園	葛城市	公園
葛城山麓公園	葛城市	公園
モーリーファンタジー 大和郡山店	大和郡山市	室内遊び場
橿原市立こども科学館	橿原市	科学館
香具山公園	橿原市	公園
モーリーファンタジー 橿原店	橿原市	室内遊び場
アミパラ 橿原店	橿原市	室内遊び場
生駒山上遊園地(ITADAKI)	生駒市	遊園地
生駒山麓公園・フィールドアスレチック	生駒市	公園
モーリーファンタジー 登美ヶ丘店	生駒市	室内遊び場
農業公園信貴山のどか村	三郷町	公園



図2.6 まほろば健康パークの周辺の各種遊び場

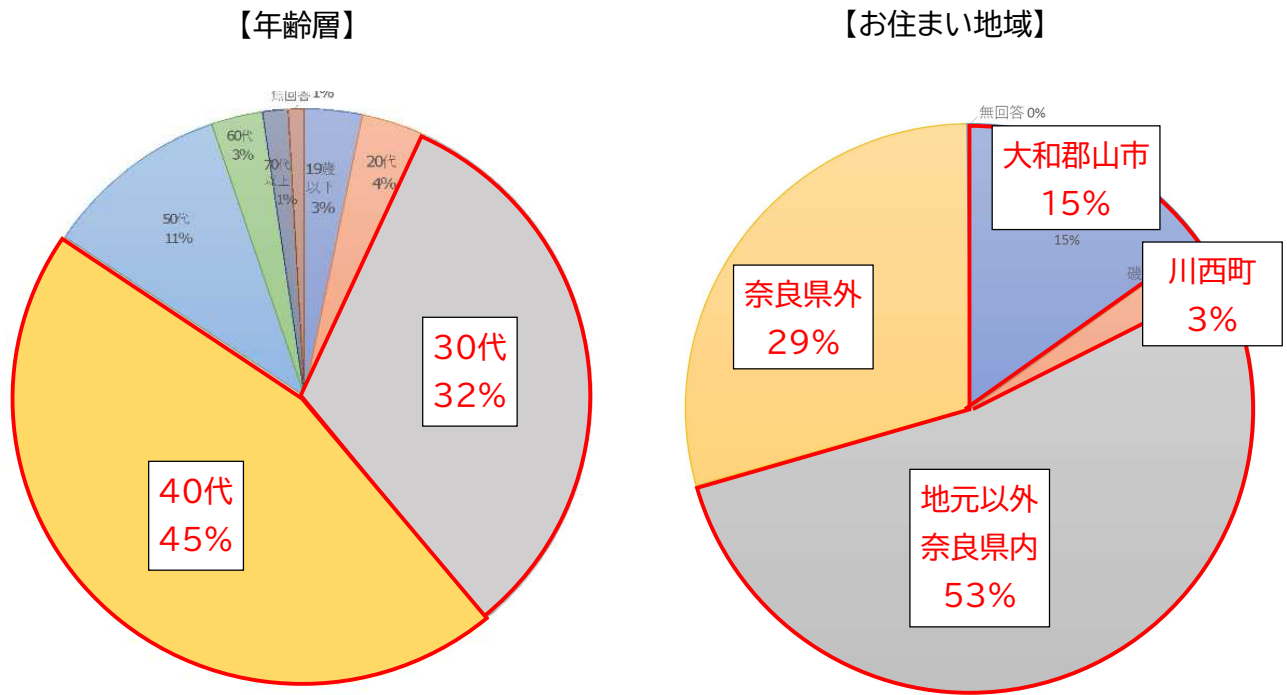
このため、新たな施設の整備については、ニーズを把握して他の既存施設とは異なる付加価値の検討が必要である。整備に際して、必要な機能等を決めるため、公園利用者へのアンケート調査および県内福祉団体等に対してヒアリングを実施した。



(3) アンケート結果

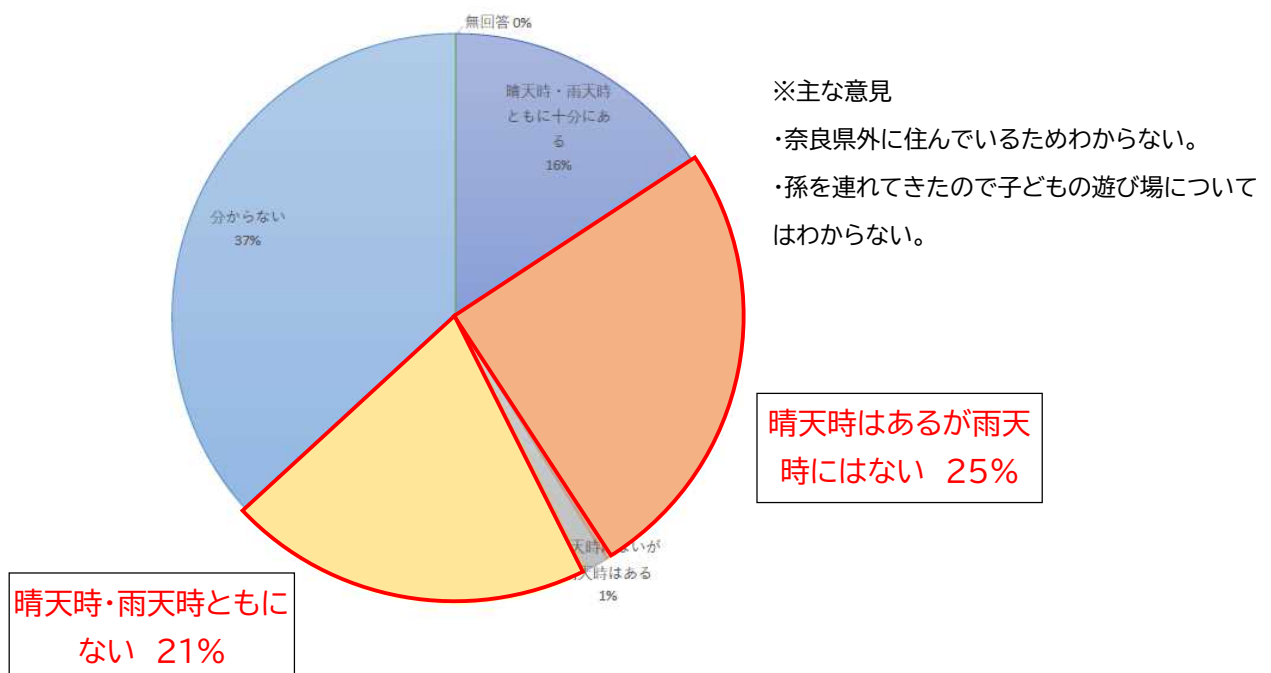
令和5年8月3日～6日(平日、土日それぞれ2日間)にまほろば健康パークファミリープール利用者を対象にアンケート調査を実施した。(回答数555人)

◆年齢層は30代と40代が約8割であり、お住まいは「奈良県内」が約7割となった。



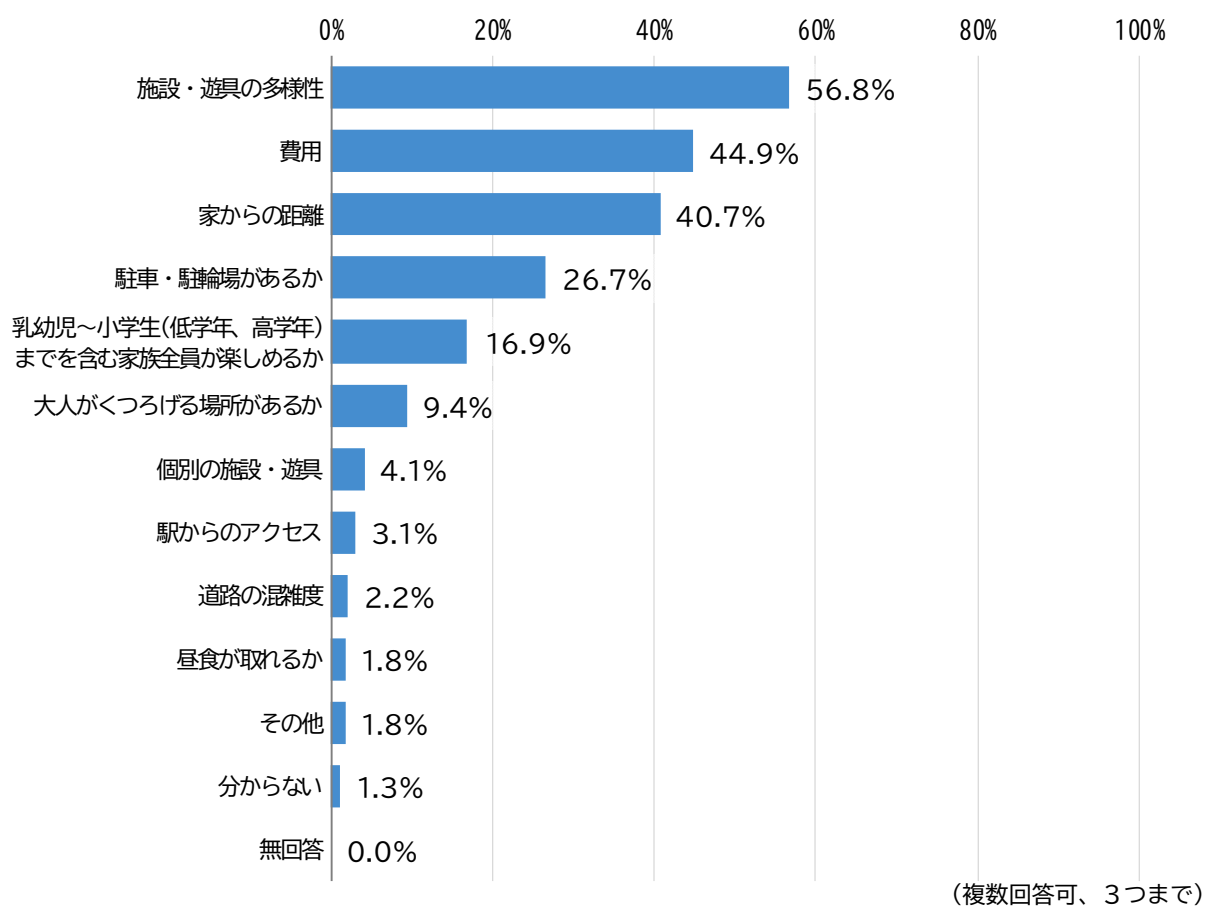
◆県内の子どもを遊ばせる場所が「晴天時はあるが雨天時はない」と「晴天時・雨天時ともない」を合わせて約5割であり、雨天時に遊べる施設に対するニーズが高い。

【子どもを遊ばせる場所】



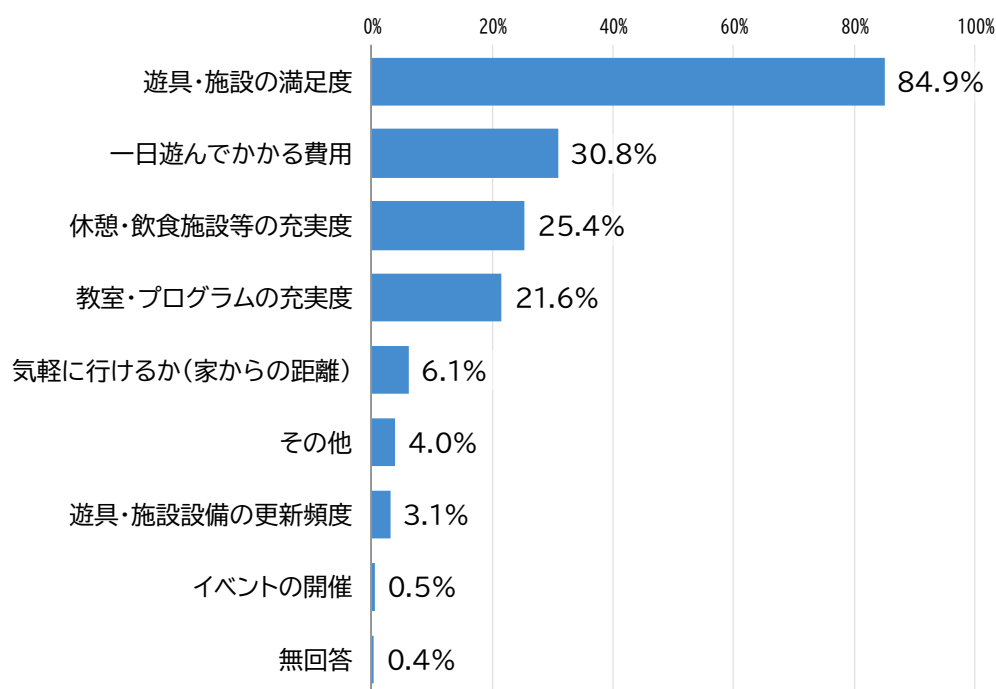
- ◆施設・遊具の整備に関しては、「個別の施設・遊具」ではなく、「施設・遊具の多様性」を重視している。
- ◆「費用」と「家からの距離」や「駐車・駐輪場があるか」といったアクセスの良さを次に重視している。
- ◆「乳幼児～小学生(低学年、高学年)」、「大人がくつろげる場所があるか」といった大人も含めた家族全員が楽しめるかといった点も重視している。

### 【こどもと公園等に出かける際に重視している点】



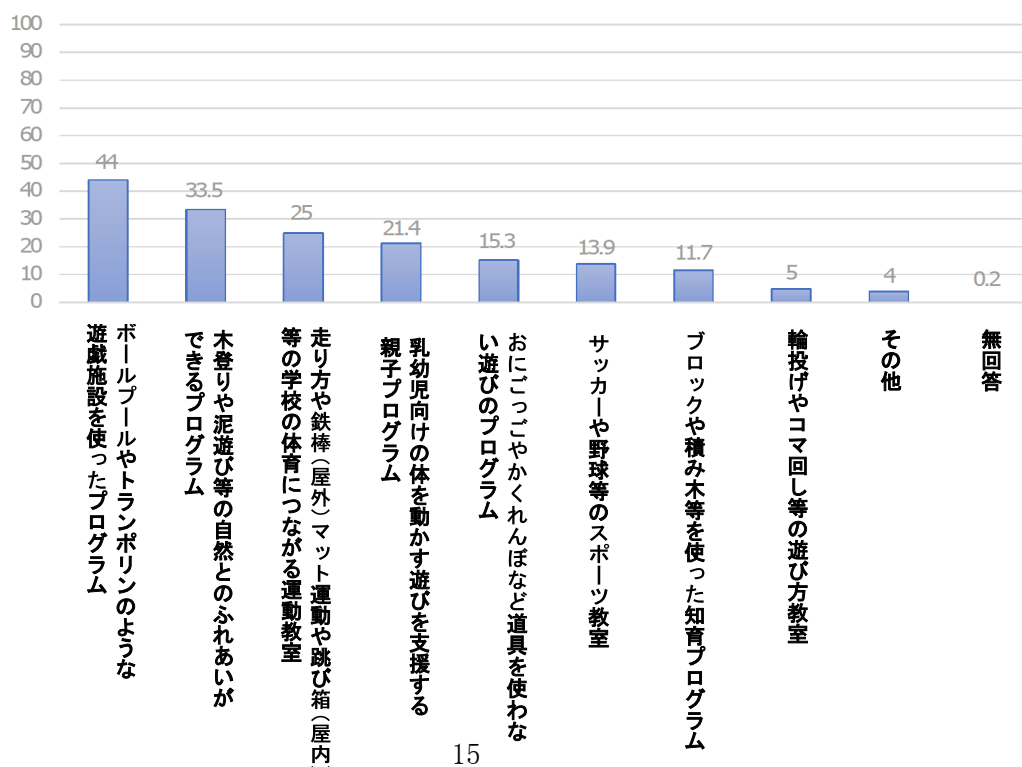
- ◆「一日遊んでかかる費用」より、「遊具・施設の満足度」を重視している。
- ◆「休憩・飲食施設等の充実度」も重視している。
- ◆「教室・プログラムの充実度」も重視している。

## 【公園等に再び訪れる際に重視する点】



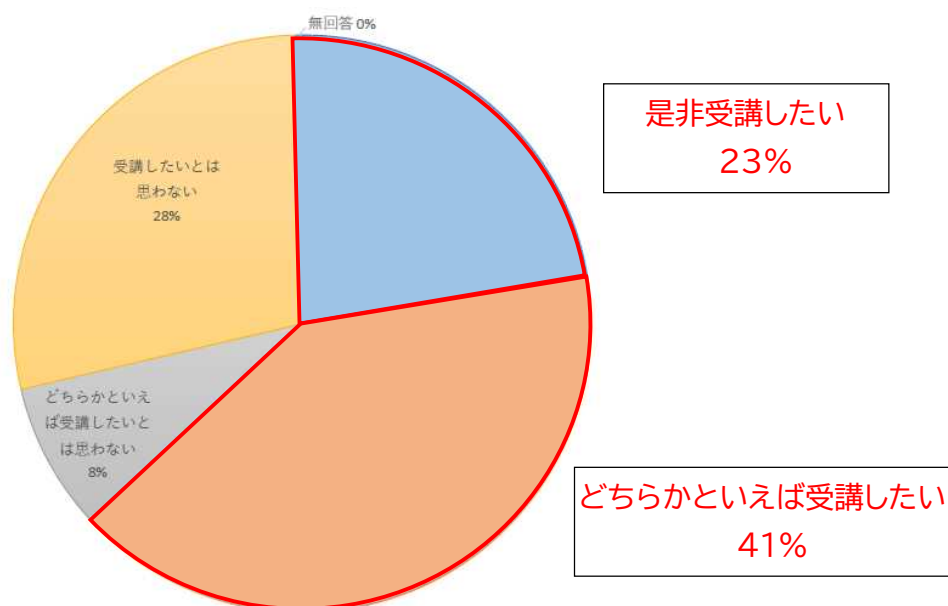
- ◆施設や道具を使った、幅広い内容の遊びや運動に関する教室・プログラムに対してニーズがある。
- ◆木登りや泥遊び等、自然とふれあえるプログラムに対しても、高いニーズがある。

## 【教室・プログラムに対するニーズ】



◆子どもを遊ばせている間に大人も体を動かすことができるプログラムへの受講意向が高い。

【子どもを遊ばせている間に大人も体を動かすことができるプログラムへの受講意向】





#### (4) 県内福祉団体等からのヒアリング結果(12団体約30人に対してヒアリング)

##### 1) 施設・遊具の整備

- ・ 大型ベッドのあるトイレ、介助者と一緒に入ることの出来るトイレは必要。
- ・ 音で遊ぶ遊具には、併せて光で遊ぶ機能もつけてほしい。
- ・ 突然、走り出したりして、遊具等にぶつかったり、転んだりする。そういった際に、怪我をしないように、素材等は柔らかいものを使ってほしい。
- ・ リハビリテーションセンターにある、障害の程度に応じて遊具等を組み替えて作る、スタートとゴールのあるサーキット活動(山あり、谷あり、平行棒等)のできる場所を設けてほしい。
- ・ 充電が必要な医療機器も多数あるので、電気の取れる場所もあるとありがたい。
- ・ 子どもが遊んでいる間、親もくつろげる場所をつくってほしい。
- ・ 電光掲示板やフラッシュライト等で聴覚障害者にも情報が伝わるようにしてほしい。
- ・ ピクトグラム等を使用するなどわかりやすい案内が必要。
- ・ 車で行くことが基本となるので、障害のある子どもの遊ぶエリアは駐車場を近くに設けてほしい。

##### 2) 雨天時等でも遊べる場所

- ・ 温度調節が難しい子もいるので、屋内で遊ぶことのできる施設があるとありがたい。
- ・ 自由に動き回る(走り回る)ことのできる広い屋内施設がほしい。

##### 3) 交流する仕組み

- ・ 障害のある人とない人がともに交流が出来るような工夫をしてほしい。
- ・ 公園利用者同士が自然と声をかけあったり、一緒に遊んだりする環境づくりをするために、コーディネーターやプレーリーダーなどを配置してコミュニケーションを促す土壌づくりをしてほしい。
- ・ 公園の中で、ある程度のゾーン分けは必要と思うが、年齢や障害の有無等ではっきりとわけないでほしい。

##### 4) 自然の活用

- ・ 拡張予定区域にある既存の自由広場は残してもらいたい。
- ・ 土や自然に触れる場所が身近になく、木登りなんかも出来る場所があると良い。
- ・ 花を楽しむことのできる空間があると良い。

## (5) ワークショップの実施結果

### 1) 開催日・出席者

令和6年11月2日(土)にまほろば健康パークにおいて、小学校1年生～20歳の方8名(保護所除く)に集まっていたいただき、ワークショップを開催した。

### 2) 実施内容

まず、公園内を歩いて回り、現在の公園区域及び拡張区域の現状を説明した。

その後、室内で公園に「あったらいいもの、作ってほしいもの」について、自由に意見を出してもらい、地図上に貼り付けた。

主な意見としては、他の公園にある遊具などの施設だけでなく、ピクニックができてのんびり過ごすことができる場所や、動物と触れ合える場所、ご飯を食べることができる場所、清潔なトイレ等の意見があった。



ワークショップの様子



主な意見

### 3) 実施結果

参加者には事前に公園に作ってほしいものを考えてきてもらったが、みんなの意見に刺激されて多くのアイデアが出された。

また、保護者の観点からも意見をいただき、こどもが大きくなっても遊べる施設や雨天時でも遊べる施設を求める意見があった。

今後は、障害のある方や、その支援等、広く参加していただき、意見を聞いていく予定。

## 2.2 インクルーシブ公園整備に向けた課題

### 1) インクルーシブ公園整備に向けた課題

県内福祉事業者等へのヒアリングや周辺地域の意見や本検討委員会での議論の結果、下記の5点について課題が抽出された。

1. 障害の有無にかかわらず楽しく安全に遊べる場所(公園)が少ない
2. ハード整備によって、場を作るだけでは、障害者と健常者の交流は進まない
3. 地域のニーズ(アウトドア施設の整備)への対応
4. 現在の公園区域と拡張検討区域との分断がないような整備が必要
5. この場所が持つ潜在的な価値や魅力を活かした遊びが必要

### 2) まほろば健康パークで確保すべき機能について

アンケート調査結果と県内福祉団体等からのヒアリング結果によると、整備面だけでなく運営面でのニーズがあり、①インクルーシブな施設・遊具等、②雨天時等でも遊べる場所、③交流を促す仕組み、④幅広い内容の教室・プログラム、⑤自然の活用の5項目についてのニーズが確認された。

	項目	内容
整備	①インクルーシブな施設・遊具等	施設・遊具の多様性が求められており、バリアフリーの基準を満たすだけでなく、アクセスも含めて、様々な人に配慮したインクルーシブな施設整備が求められている。また、大人もくつろいだり楽しめる場所が求められている。
	②雨天時等でも遊べる場所	屋内遊戯場や体育館といった雨天時等に遊べる場所は一定数あることから、そういった施設とは異なる雨天時等に遊べる場所が求められている。
運営	③交流を促す仕組み	プレーリーダーの配置やゾーニングの工夫等によって、健常者と障害者や障害者同士の交流が深まる仕組みが求められている。
	④幅広い内容の教室・プログラム	施設や遊具を使った、幅広い内容の遊びや運動に関するプログラム等が求められている。
その他	⑤自然の活用	木登りや泥遊び等、自然と触れあえることのできる場所やサービスに対してニーズがある。

まほろば健康パークの利用圏域内での、これらの機能を有する施設の有無を民間も含めて調べると不足していることから、まほろば健康パークでは、これらの5項目を確保すべき機能とした。

公園管理者名	ニーズ調査等から求められる機能				
	①インクルーシブ機能	②雨天時等でも遊べる場所 (屋内遊技場、屋内運動施設以外)	③交流を促す仕組み	④幅広い内容の教室・プログラム	⑤自然の活用
県管理の公園	×	△ 1箇所 (馬見丘陵公園)	×	×	×
市・町管理の公園 (街区公園を除く)	△ 1箇所 (柏木公園)	△ 1箇所 (橿原運動公園)	△ 1箇所 (奈良市子どもセンター)	△ 1箇所 (奈良市子どもセンター)	△ 2箇所 (生駒山麓公園) (信貴山のどか村)
参考 (民間)	×	×	×	×	×

※本調査は、まほろば健康パーク15km圏域からの施設を抽出。

※本調査は、奈良県公園企画課調べ。

[凡例]

○:3件以上

△:3件未満